

## 特長

### 多様な流れをつくります。

■全面魚道「はやせ」は、5種類の形状ブロックを用意しています。各ブロックの組み合わせにより様々な水の流れを生み出し、多種多様な生物がそれぞれに適した経路を選択して移動できます。

### 滞筋(みおすじ)を形成します。

■渇水期などで水量が減少した場合にも、本体の窪みと水流方向の設定による集水効果によって滞筋を保ち、移動経路を確保します。

### 様々な生物に対応します。

■ブロックごとの段差が無いので、小型魚種や底生生物の移動も容易です。

### 様々な河川に対応します。

■ブロック単体は1.5m×1.5mの大きさを、河川形状に合わせた対応ができます。また現場打ち魚道と比較して施工が大変容易です。

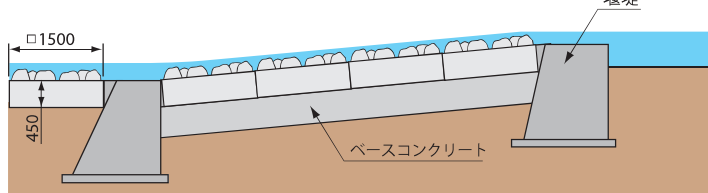
### 機能と景観性の両立ができます。

■玉石形状を基調とし、藻類の付着面積を増大させると共に様々な河川景観に調和します。



## 参考断面図

標準使用勾配=1:10.0以上 (E型は1:5.0まで対応)



※必要に応じて、敷モルタルを使用して下さい。  
※ベースコンクリートを打設しない場合は、河床の不陸を均し、必ず吸出防止材を使用して下さい。

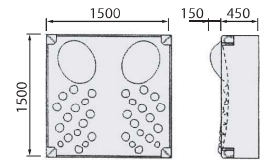
## 施工例



### A 型

#### 滞筋タイプ

突出部が中央に水流を集中させ、水深を保ちます。

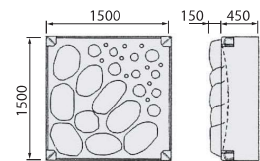


参考質量 2250 (kg)

### B 型

#### 方向設定タイプ

水流方向を変えたり、水流を集中させる場合に使用します。

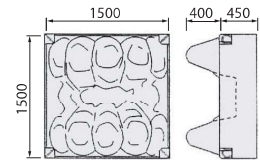


参考質量 2390 (kg)

### C 型

#### 静穏域タイプ

突出した擬石隔壁によって水流を遮り、内部に静穏域を形成します。

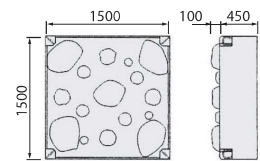


参考質量 2780 (kg)

### D 型

#### 平瀬タイプ

水流方向に沿った擬石配列で少流量時に水流を集中させます。

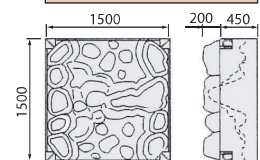


参考質量 2380 (kg)

### E 型

#### プールタイプ

常時水深を保つことができ、連続使用で階段型プール魚道となります。

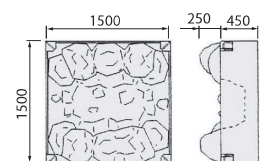


参考質量 2000 (kg)

### F 型

#### 休憩所タイプ

水の減勢効果と遡上途中の休憩場所となる深みを提供します。

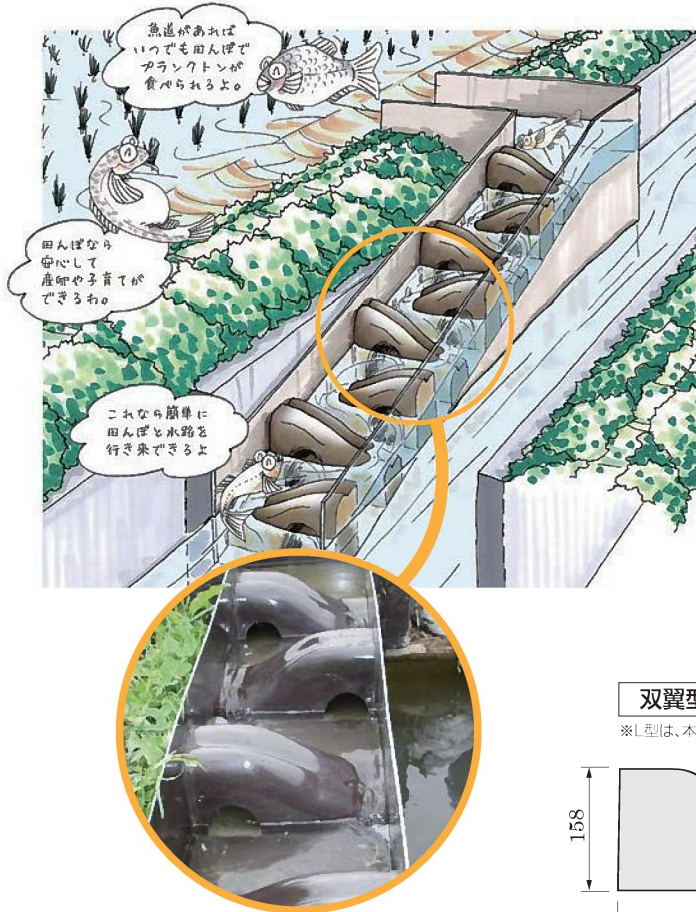


参考質量 2380 (kg)

# 双翼型魚道(水田魚道)

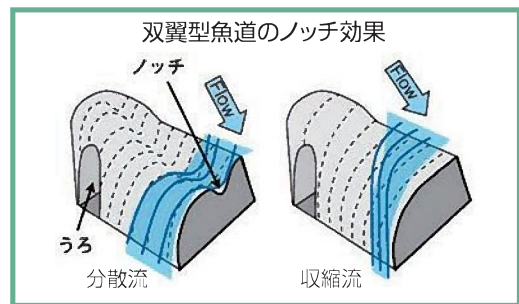
## 特長

- 双翼型魚道は、農業用水路および水田を接続する「傾斜隔壁越流型魚道」です。
  - 農村地域の生態系を考えたとき、水を介した生態系ネットワークの構築が重要となります。
- 双翼型魚道を水田魚道として設置し水路と水田をつなぐことで、魚類の産卵・稚魚の育成の場として水田がよみがえります。



### 魚類にやさしく、高い遡上率!

■ 越流部中央の切り欠き(ノッチ)効果によって、体長50mm以下の遊泳力の低い魚類(小型魚)も越流水深が20mm程度で遡上が可能です。また、魚道の隔壁に設けたうろ(空洞)は、遡上中の魚類の避難場所になります。



### 急勾配でも設置可能!

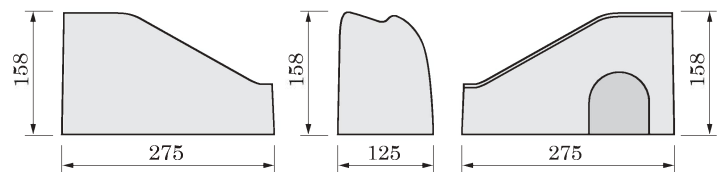
■ 魚が遡上しやすい流れを形成するため、勾配を幅広い範囲で設置できます。(1:10~1:3)

#### 双翼型魚道ブロック R型

※L型は、本図とは勝手違いとなります。

#### 参考質量(kg)

6



## 施工例



■ 低勾配(1:7)での施工事例



■ 高勾配(1:5)での施工事例



■ 農業用排水路(取り外し可能)



■ 水田と排水路の段差



■ 水路の落差

